

社会的養護の現状と課題



社会的養護の現状と課題

これまでの日本の社会的養護の大半は施設養護であり、大舎制の運営形態であった。平成29年に国から、家庭養育推進の原則が示されたことで、多くの施設が大人数の大舎制から少人数での家庭的養育に移行が進んでおり、里親委託も進めようとしています。

玉島学園でも3年前に家庭的養育を中心とした小規模グループケアに移行した。そこで、大舎制から家庭的養育への移行の重要性や苦勞、子どもたちの生活の様子、今後の児童養護施設が向かう方向性を伝え、社会的養護の現状と課題を知ってもらうことで、少しでも児童養護施設に関心をもっていたいただけたらと思います。

《講師プロフィール》

昭和55～平成6年 平成6年～	岡山、倉敷、浅口市の公立小中学校で勤務。 玉島学園の児童指導員として勤務。翌年、主任児童指導員に就任。
平成13～29年 平成26年～	川崎医療福祉大学医療福祉学部 非常勤講師。 玉島学園 副園長に就任。
平成27～令和2年 平成31年～	ノートルダム清心女子大学人間生活学部 非常勤講師。 玉島学園 園長に就任。

日時

11月14日(木) 10:00～11:30

会場

玉島市民交流センター2階 第2会議室
児童養護施設 玉島学園

講師

園長 原田 通典 氏

受講料

全4回 300円 *第2・3回はくらしき市民講座(無料)

問合せ:玉島公民館(倉敷市玉島阿賀崎1-10-1 ☎526-7625)

■受付時に手指消毒にご協力ください。

■次の場合は、受講をご遠慮ください。

発熱、咳、のどの痛みなど体調が悪い場合

■講演会開始2時間前の時点で「暴風警報」もしくは「特別警報」が発令している場合は中止とします。



定員 80名